

第3号議案

2023年度 (令和5年度) 活動方針案



2023（令和5）年度活動方針（案）

千聴協とより緊密な連携はかり、聞こえない人たちが安心して生活・活動ができる場作りなどを応援していく。

1. 会員拡大

2023年度は社会活動が緩やかながら元に戻りつつある。社会状況を注視しながら徐々に活動の幅を広げていくことにより、当会の趣旨、運動の重要性、高齢聴覚障害者やろう重複障害者の実情への理解と支援を広げ、また、（社福）千葉県聴覚障害者協会の10か年計画に基づく事業計画を支援していく。

新芽まつり、秋穫祭などの主要行事は催行においてコロナ禍前に近づけていくとともに、耳の日まつりなどの行事でのPR、「このゆびとまれ」の発行など、啓発活動を計画的に進める。

2. 資金造成

会員の拡大、一般寄付による資金造成を進める。ストラップ等の自主製品の販売を、新芽まつり、秋穫祭での販売をすすめる。

社会状況を鑑みながら、街頭カンパの実行回数を増やしていくなど、資金造成機会を増やしていき、より多くの資金を集められるよう努力する。

2023（令和5）年度 各部方針（案）

【事務局】

1. 理事会を、活動運営委員会に合わせて開催する。
2. 必要に応じて会議を開催する。
3. 資金造成部やイベント部の活動を共に検討する。

【イベント部】

1. 後援会の二大イベント「新芽まつり」「秋穫祭」について、前年同様の対策と並行しながら、コロナ禍以前のスタイルに戻す取り組みもおこないたい。
2. その他のイベント等については、7月開催予定の「ヒゲの校長」上映会を始め、市単位での街頭カンパ実施も都度検討していきたい。

- * 5月21日 新芽まつり
- * 7月16日 「ヒゲの校長」上映会
- * 11月12日 秋穫祭

【広報部】

1. 機関紙「このゆびとまれ」を年6回発行する。
2. 後援会の目的や活動を広く周知できるように、ホームページを充実させる。
3. 事務局と連携を取り、時宜にかなった情報を提供できるようにする。
4. 会員の方々からのレポートを募り、イベントや各ブロックの情報を掲載できるようにする。

【資金造成部】

1. 街頭カンパや募金箱など従来の資金造成の方策を展開していく。
2. 後援会グッズの開発を構築していくことで、販売路線の強化をはかる。
3. 千葉県聴覚障害者協会の活動運営委員会の5支部の「らいおん担当」と連携を図りながら、会員拡大につなげていく。